阿知須町広報
発行所　阿知須町役場
山口県吉敷郡阿知須町
発行　広報委員会
編集　広報委員会事務局
印刷所　宇部新聞社

343万円を繰上償還

財政再建の計画変更

最終年度は百万円に減少

本年度で六割を解消

昭和三十三年度実現で確認された町財政の赤字額五千五百九十七万六千円も、温泉掘削、臨経費の節減でその過半を解消することができましたが、やはり一日も早く残りの赤字を解消して、財政再建団体からはずしてもらい、健全財政をモットーとした町の自主的な予算の編成ができるよう努力しなければなりません。

そこで、本年度においても、当初解消計画の三百二十万円に対し約六百六十三万円の解消をする最計画され、第五回臨時議会においても承認を得てあります。

では本年度がどうして当初計画額より約二百四十三万円も多く解消できたか、その内容の大略をのべてみましょう。

まづ繰入増としての主なものは

①税収入の約二百万円

②地方交付税の約二百五十万円

③財産売却代、山林など）約七百万円―でありますが、これだけを節金額赤字解消に使うわけにはゆきません。やはり繰越を要する件には支出計画を立てねばなりません。町民の協力を得ることは最も非としなければならないという原則からしても。

目前迫る総選挙

後悔が残らぬ清い一票を

国会解散↓公示→選挙戦はあとわずか十日たらずの運動期間しかない今日この頃、街頭では各候補者が貴重な私達の一票を目指しての金を惜しんでの猛運動も連日行なわれていますが、この反面、除にまわれば、公明選挙と吹く風とばかり、法の盲点をくぐっての巧みなものから、白昼堂々たる行動派までその過反行為が毎日の新聞紙上に見受けられます。

しかし、私たち有権者は、これら選挙反行為や甘言にまどわされず〝本当にこの人が私たちの代表者たらん〟と思う人に投票し、明日の明るい政治を築く社会的な義務があります。義理と金、脅迫、慣行による投票の強要に負けずに御聞たる信念をもって、だれにも一つしかないこの貴重な権利を、のちのちまでも悔いのないよう立派に行使しましょう。

なお、次のような行為は選挙違反とはなりません。

時に推せんできる候補者のために……

○候補者からもらった選挙用はがきを使って投票をたのむこと。

○住宅の一部なら百万円控除

○増設車庫への課税

○不動産取得税

○総選挙これからの事務（町選管）

○十歳、物置などしばしく人の居住の用に供する家屋の一部とみなされるので、地方税法〝百万円の控除〟の規定の適用がある。

②人の居住の用に供する家屋の一部とみなされないので、右の適用はない。

答　文書だけでは、増築するしないの判定は困難なようですが、しかし、その建物が住宅の付属建物として、もっぱら通常用の自動車を格納する車庫の用に供するものと認められる限り①とすることとなっています。

問　私所有の住宅に隣接して不動産登記上は同社所有の自動車を通勤用として一台の建物として私と同居の子どもAが使用する自動車の車庫を増築しました。Aは会社に勤務して（私の出資している）

答　自動車の運転などの仕事に従事している者が、その自動車を通勤用として使用していますこういう状況で、前記の車庫増築に対する不動産取得税の課税は次の㈠㈡のどちらが判断が正しいでしょうか。

㈠車庫は、Aの通勤用自動車の車庫を増設したものであるから、Aの通勤用自動車の車庫を増設したものであるから、Aの通勤用自動車の車庫を増設したものであるから

国民年金

加入申請はお早くお済ませください

すでに、十月一日から掲出開始「届」を必ず提出しなければなりません。民年金の被保険者（この制度に加入して、将来の年金の保険を与えられる人）の登録事務がはじまっていますが、もう届けはおすみでしょうか。まだ届け出されていない方は、早く届け出をすませて下さい。

そこで今月から、被保険者になるための手続、被保険者になってから（届け出をすませてから）住所が変わったり、氏名を変更した場合などのいろいろな手続を、今月と来月号の二回にわたりお知らせします。今月は「被保険者となるための必要な手続き」を。これら届出の用紙は、全て町厚生課に備えてあります。

一、被保険者となるための必要な手続き

①明治四十四年四月一日から昭和十六年三月三十一日までに生れた人で、現在被用者年金（厚生年金、船員保険、各種共済組合、農林など）の適用を受けていない人は「国民年金被保険者資格取得届」と出来るだけ早く取得届を出さねばなりません。

②被用者年金の適用者の配偶者、あるいは遺族年金や扶助料の受給者で、国民年金への加入を希望される人（被用者年金の適用を受けていない限り、二十才に達した日から二十日以内に資格、または「国民年金被保険者資格取得承認申請書」と出来るだけ早く必ず本人の名前で届け出のこと。

③明治三十九年四月一日から同四十四年三月三十一日までの出生者で、加入を希望される人（被用者年金適用者を除く）は「国民年金被保険者資格取得申出書」を、必ず本人の名前で、提出期限の来年三月三十一日までに提出しなければなりません。

◆来月号は「保険料免除の手続き」、「住所、氏名変更の手続き」、「資格喪失にともなう手続き」を掲載します。

今月中に二期分を

豊作増収者　所得税は少し余計納めておこう

◎七月に第一期分の予定納税をされた人は、今月末までに、これと同額の第二期分を納めなければなりません。もし七月以降に農況が好転になり、去年より所得が大巾に修正申告をして、それに見合うよう、少しずつ納めておき、来年三月の確定申告期に一時多額のお金を納める苦労をなくしましょう。

一方、去年より所得が減る見込のときは、今月十五日までに、予定納税額の減正の請求をすることもできます。

おまけに、本月は、この所得税と事業税の納期が少ずつとなることなり、商工業者は両方を同時に納める方もあるので、なかなか大変でしょうが、あらかじめ納税貯蓄組合に加入して、納税額に見合う積立が確実に実施されておれば、滞納による延利をとられることもありません。

家屋の新改増築などは必ず届出を

近年来、相等数の家屋が新築、ら家屋の申告（所有権移転を除く改築、増築は修築）並びに所有者）が殆んどされていません。これが修繕がなされていますが、これ